

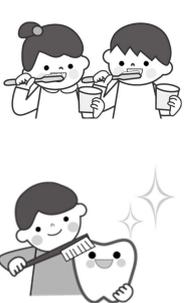
自律的な健康づくりに主体的に取り組む児童の育成

～歯と口からはじめる自分みがき～

愛媛県大洲市立大洲小学校 14 学級 324 名

大洲小学校は、平成 25・26 年度に「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」に取り組んでいます。この事業は、昭和 53 年から文部省（後に文部科学省）で実施してきた「むし歯予防推進指定校」などの取組が発展したものです。

子どもたちが自分の歯や口の健康状態に関心をもち、健康上の問題について自ら考え、歯みがきや食生活などの生活習慣を主体的に改善できる資質や能力などの「生きる力」を身に付け、生涯を通じて健康で活力のある生活を送る基礎を培うことをねらいとして研究を進めてきました。その内容を一部ご紹介します。

<p>①フッ化物洗口</p> <p>う歯罹患者と一人当たりのむし歯本数が多いことを受け、週 1 回実施しています。</p>		<p>②学童歯みがき大会</p> <p>インターネットのライブ配信で歯と歯ぐきの健康について学びました。</p>	
<p>③歯科保健指導</p> <p>夏休みに、教職員も八幡浜保健所の歯科衛生士からブラッシングの指導を受けました。</p>		<p>④はぴかちゃん歯いく大賞</p> <p>全校児童が応募し、学校賞と 4 年生女児が優秀賞を獲得しました。</p>	
<p>⑤授業実践</p> <p>歯・口の健康づくりに関する授業（特別活動）を各学年で研究実践しました。</p>			
			

※ 詳しくは大洲小学校のHP(保健室から)を御覧ください。【<http://ehm-ohzu-e.esnet.ed.jp/koop/>】